ヨド物置 エルモ シャッター

連棟型〈床タイプ〉組立説明書 LOD(U)-1811HF型・1815HF型

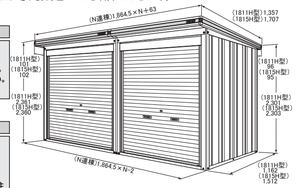
このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずご確認ください。
また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡しください。

※この組立説明書は1815HF×2連棟の図で説明しています。3連棟以上の場合、1811の場合も組立手順は同じです。よくご確認の上、組立を行ってください。(組立は専門業者にご依頼ください。)

●設置場所の制限

△注意

1.建物の屋上には設置しないでください。
2.バルコニー等の避難通路にある場所には設置しないでください。
3.大屋根からの雨水雪が、直接物置の扉根に落ちる場所には設置しないでください。
4.屋のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
5.給湯器の前には設置しないでください。



(寸法の単位はmm)

●施工前の注意点

△注意

1.アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
2.部材は、全て調製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
3.重い部材、棚包の運搬や据付の際は2名以上で行ってください。
4.組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
5.風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
6.高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

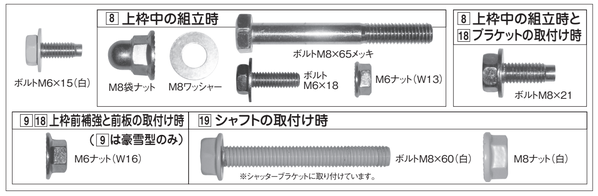
鍵は、シャッタースラットの裏面に貼り付けてあります。

●施工時の注意点

1.まず御注文通りの商品かどうかを梱包組合せ表・梱包内容表にて確認してください。
2.部材の共通化のために、実際には使用しない穴の空いている部材がありますので、説明書に従って組立てください。
3.部材名称の左・右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
※シャッターの部材名称は室内側から見ての左右となりますので間違えないように取り付けてください。
4.部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。
5.組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。
6.シャッター部材の取付けについては各工程に注意事項を記載しておりますので、よくお読みの上、組立を行ってください。

●組立に必要なもの(事前にご準備ください。)
・軍手・水準器・脚立・M6・M8ボルト・アンカーボルト締結用のスパナ又はモンキー、ペンチ等工具、サゲフリ
・アンカーボルトW1/2×210ℓ、ナット×2、ワッシャー(オプションの設定もございます。)

●使用ビス一覧 (各工程の使用ボル数に特に記載がない場合は、M6×15(白)を使用します。)



梱包組合せ表

機種			1811型 基本梱包	1811型 追加梱包	1815型 基本梱包	1815型 追加梱包
枠	部品		LO5-0132	LO5-6132	LO5-0132	LO5-6132
	上枠前後	一般	LO5-0204	LO5-0204	LO5-0204	LO5-0204
		豪雪	LO5-0224	LO5-0224	LO5-0224	LO5-0224
	下枠前後		LO5-0254	LO5-0254	LO5-0254	LO5-0254
	上枠左右 下枠中	一般	LO5-0302	LO5-6302	LO5-0303	LO5-6303
		豪雪		LO5-6322		LO5-6323
	下枠左右 下枠中		LO5-0352	LO5-6352	LO5-0353	LO5-6353
	柱		LO5-0411	LO5-6411	LO5-0411	LO5-6411
間柱	一般型		LO5-1467	-	LO5-1468	-
	豪雪型		LO5-1487	-	LO5-1488	-
	鼻隠し		LM5-1104	LM5-1104	LM5-1104	LM5-1104
補強	一般型		LO5-0521	LO5-0521	LO5-0521	LO5-0521
	豪雪型		LO5-3521	LO5-3521	LO5-3521	LO5-3521

機種		1811型 基本梱包	1811型 追加梱包	1815型 基本梱包	1815型 追加梱包
床		LM5-0707	LM5-0707	LM5-0714	LM5-0714
屋根		LM5-0912	LM5-0912	LM5-0923	LM5-0923
壁		LM5-1014	LM5-1011	LM5-1013	LM5-1011
		LM5-1031	LM5-1011	LM5-1013	LM5-1011
		LM5-1032	LM5-1031	LM5-1031	LM5-1031
シャッター		LO5-1731	LO5-1731	LO5-1731	LO5-1731
		LO5-1732	LO5-1732	LO5-1732	LO5-1732
棚板		LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903
合計	一般型	17	16	17	16
	豪雪型	17	16	17	16

梱包内容表

●部品
LO5-0132 1811・1815

部材名	数量
ボルトM6×15(白)	174(11)
ボルトM8×21	5(1)
ナットM6-16用	5(1)
ELD 屋根隅間隔L A	2
ELD 屋根隅間隔L B	1
ELD 内アンカー金具(A)	4
LLD 内アンカー金具L	4
ELD 内アンカー孔塞ぎシール	1
組立説明書	1
取扱説明書	1
保証書 5年	1

※( )内は予備

LO5-6132 1811・1815

部材名	数量
ボルトM6×15(白)	159(15)
ボルトM8×21	5(1)
ナットM6-16用	5(1)
LOD 下枠補強金具 YK 前中	1
LOD 下枠補強金具 YK 後中	1
ELD もや取付金具	2
XM 屋根取付金具	2
ELD 屋根隅間隔L A	2
ELD 屋根隅間隔L B	1
ELD 鼻隠し前補強金具	1
ELD 鼻隠し後補強金具	1
ELD 鼻隠し前連結化粧	1
LOD 下枠カバー前	1

※( )内は予備

●上枠前後
LO5-0204 1811・1815

部材名	数量
LOD 上枠前 A2.5	1
ELD 上枠後 A2.5	1

LO5-0224 1811・1815

部材名	数量
LOD 上枠前 A2.5	1
ELD 上枠後 A2.5	1
LOD 上枠前補強 A2.5U	1

●下枠前後
LO5-0254 1811・1815

部材名	数量
LOD 下枠前 YK A2.5	1
ELD 下枠後 A2.5	1
ELD 床押え A2.5	2

●上枠左右
LM5-0302 1811

部材名	数量
ELD 上枠左 A1.5	1
ELD 上枠右 A1.5	1

LM5-0303 1815

部材名	数量
ELD 上枠左 A2.0	1
ELD 上枠右 A2.0	1

●上枠中間
LO5-6302 1811

部材名	数量
LOD 上枠中 右 A1.5	1
LOD 上枠中 左 A1.5	1
ELD 屋根連結材 A1.5	1
ELD 上枠中受け金具 前右	1
ELD 上枠中受け金具 前左	1
ELD 上枠中受け金具 後右	1
ELD 上枠中受け金具 後左	1
ナットM8-17用	10
ﾜｯｼｬｰM8.5×18×1.6	7
ボルトM8×21	3
ボルトM6×18	4(1)
ナットM6-13用	4(1)

※( )内は予備

LO5-6303 1815

部材名	数量
LOD 上枠中 右 A2.0	1
LOD 上枠中 左 A2.0	1
ELD 屋根連結材 A2.0	1
ELD 上枠中受け金具 前右	1
ELD 上枠中受け金具 前左	1
ELD 上枠中受け金具 後右	1
ELD 上枠中受け金具 後左	1
ボルトM8×65	7
ナットM8-17用	10
ﾜｯｼｬｰM8.5×18×1.6	7
ボルトM8×21	3
ボルトM6×18	4(1)
ナットM6-13用	4(1)

※( )内は予備

●上枠前後
LO5-6322 1811

部材名	数量
LOD 上枠中 右 A1.5U	1
LOD 上枠中 左 A1.5U	1
ELD 屋根連結材 A1.5	1
ELD 上枠中受け金具 前S右	1
ELD 上枠中受け金具 前S左	1
ELD 上枠中受け金具 後S右	1
ELD 上枠中受け金具 後S左	1
ボルトM8×65	9
ナットM8-17用	12
ﾜｯｼｬｰM8.5×18×1.6	9
ボルトM8×21	3
ボルトM6×18	4(1)
ナットM6-13用	4(1)

※( )内は予備

LO5-6323 1815

部材名	数量
LOD 上枠中 右 A2.0U	1
LOD 上枠中 左 A2.0U	1
ELD 屋根連結材 A2.0	1
ELD 上枠中受け金具 前S右	1
ELD 上枠中受け金具 前S左	1
ELD 上枠中受け金具 後S右	1
ELD 上枠中受け金具 後S左	1
ボルトM8×65	9
ナットM8-17用	12
ﾜｯｼｬｰM8.5×18×1.6	9
ボルトM8×21	3
ボルトM6×18	4(1)
ナットM6-13用	4(1)

※( )内は予備

●下枠左右
LM5-0352 1811

部材名	数量
ELD 下枠前 A1.5 左	1
ELD 下枠前 A1.5 右	1

LM5-0353 1815

部材名	数量
ELD 下枠前 A2.0 左	1
ELD 下枠前 A2.0 右	1

●下枠中
LO5-6352 1811

部材名	数量
LOD 下枠中 A1.5	1

LO5-6353 1815

部材名	数量
LOD 下枠中 A2.0	1

●柱
LO5-0411 1811・1815

部材名	数量
LOD 柱前 YK 左	1
LOD 柱前 YK 右	1
ELD 柱後 H	2
LOD 柱前補強カバー YK 左	1
LOD 柱前補強カバー YK 右	1

LO5-6411 1811・1815

部材名	数量
LOD 中柱前 YK	1
LOD 中柱後 YK	1
ELD 柱後 H	2
LOD 中柱前補強カバー YK 左	1
LOD 中柱前補強カバー YK 右	1

●間柱
LO5-1467 1811

部材名	数量
ELD 間柱前 中 1.5 H	2
ELD 間柱後 H	2

LO5-1468 1815

部材名	数量
ELD 間柱前 中 2.0 H	2
ELD 間柱後 H	2

LO5-1487 1811

部材名	数量
LOD 間柱前 U 中 1.5H	2
ELD 間柱後 H	2

LO5-1488 1815

部材名	数量
LOD 間柱前 U 中 2.0H	2
ELD 間柱後 H	2

●鼻隠し
LM5-1104 1811・1815

部材名	数量
ELD 鼻隠し前 A2.5	1
ELD 鼻隠し後 A2.5	1

●補強
LM5-0521 1811・1815

部材名	数量
ELD もや A-A2.5 DLN	1
ELD 床補強 A2.5	1

LM5-3521 1811・1815

部材名	数量
ELD もや C-A2.5U DLU	1
ELD 床補強 A2.5	1

●床
LM5-0707 1811

部材名	数量
ELD 床板 A1.5	5

LM5-0714 1815

部材名	数量
ELD 床板 A2.0	5

●屋根
LM5-0912 1811・1815

部材名	数量
ELD 屋根 (35) A1.5	1
ELD 屋根 (70) A1.5	2

LM5-0923 1815

部材名	数量
ELD 屋根 (35) A2.0	1
ELD 屋根 (70) A2.0	2

●シャッター
LO5-1731 1811・1815

部材名	数量
シャッタースラット A2.5 <床> (先2ヒ孔 スラット9枚付)	1
LOD シャッターシール YK 左	1
LOD シャッターシール YK 右	1
シャッターブラケット 左	1
シャッターブラケット 右	1
フック棚 L=600mm	1
LOD 前板 A2.5	1

LO5-1732 1811・1815

部材名	数量
浄盛付スラット A2.5 <床> (スラット14枚、浄盛付スラット1枚)	1
浄盛付スラット A2.5 (床) (スラット9枚、浄盛付スラット1枚)	1

●棚板
LM5-1903 1811・1815

部材名	数量
ELC 棚板 A2.0N	2
ELC 棚受 H 左	3
ELC 棚受 H 右	3

●壁
LM5-1011 1811・1815

部材名	数量
ELD 壁パネル H-A	1

LM5-1013 1815

部材名	数量
ELD 壁パネル H-A	3

LM5-1014 1811

部材名	数量
ELD 壁パネル H-A	4

LM5-1031 1811・1815

部材名	数量
ELD 壁パネル H- F	1

LM5-1032 1811

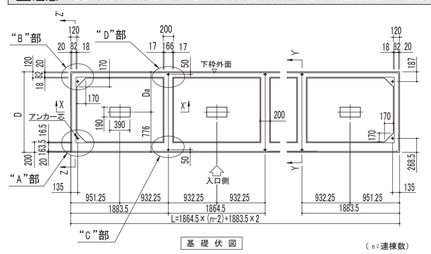
部材名	数量
ELD 壁パネル H- F	2

○部材名称には A1.5, A2.0, A2.5等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略しております。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。

1 基礎施工例(参考図)

参考図は当社のホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。

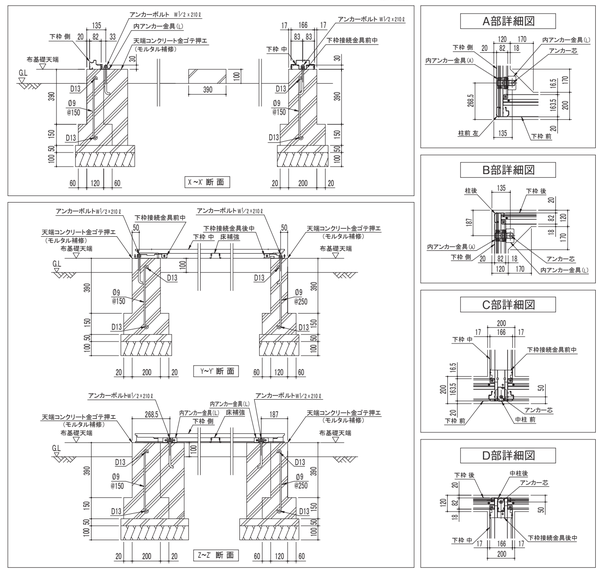
△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の状況(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。



〈参考図の設計条件〉
地耐力50kN/m²
コンクリート設計基準強度
18kN/m²以上
基準風速34m/s
地表面粗度区分Ⅱ

機種	D	Da
LOD(U)-1811H	1,201.5	425.5
LOD(U)-1815H	1,552	776

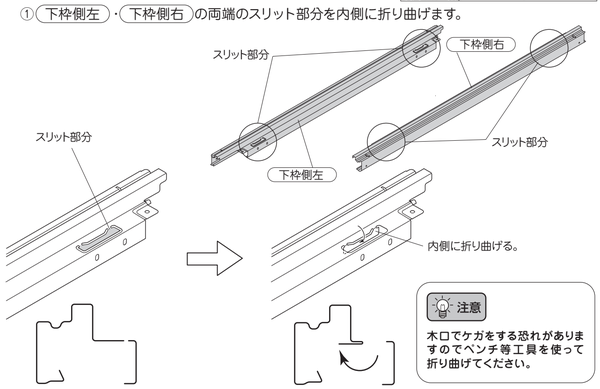
基礎伏図 (n=連棟数)



2 前工程

	1811型	1815型
使用梱包	LM5-0352	LM5-0353
使用ボルト数	0本	

①下枠側左・下枠側右の両端のスリット部分を内側に折り曲げます。

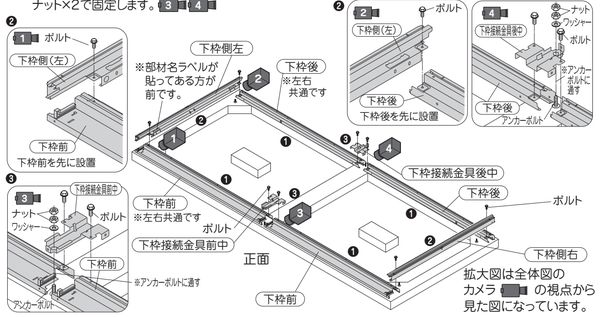


注意
木口でケガをする恐れがありますのでペンチ等工具を使って折り曲げてください。

3 下枠の組立(その1)

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-6132	
	LO5-0254	
	LM5-0352	LM5-0353
使用ボルト数	8本	

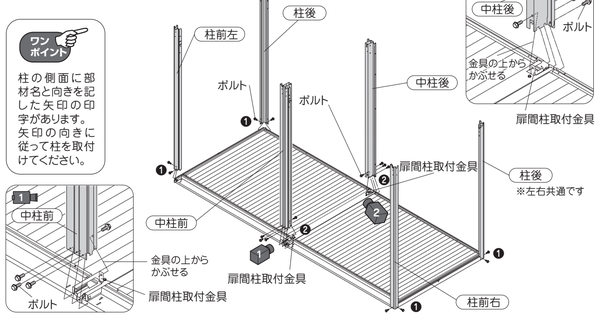
①下枠前・下枠後を基礎の上に設置します。
②下枠側左を下枠前・後の上から設置してボルト止めします。1 2
③下枠接続金具前中、下枠接続金具後中のひし形の孔を基礎のアンカーボルトに通し、下枠前・後の上からかぶせてボルト止めします。併せてアンカーボルトにもワッシャーとナット×2で固定します。3 4



4 アンカーボルトの固定(両側面のみ)

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-0132	
使用ボルト数	8本	

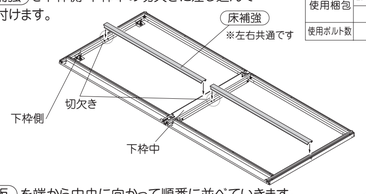
①内アンカー金具(A)を下枠側の前工程で加工した穴から差し込んで下枠側の中に入れ込みます。(4か所)
②内アンカー金具(L)をアンカーボルトに通してボルト止めします。
併せてアンカーボルトにもワッシャーとナット×2で固定します。
③内アンカー金具(A)を差し込んだ穴を付属の角孔フサギシールを貼り付けて塞ぎます。



5 床の設置

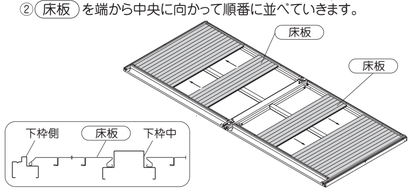
	1811型		1815型	
	一般型	豪雪型	一般型	豪雪型
使用梱包	LM5-0521	LM5-3521	LM5-0521	LM5-3521
	LM5-0707		LM5-0714	
使用ボルト数	0本			

①床補強を下枠側・下枠中の切欠きに差し込んで取り付けます。



注意
床補強(オプション)を取付ける場合は、「床補強(オプション)」の組立説明書をあわせてご確認ください。

②床板を端から中央に向かって順番に並べていきます。



注意
床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。

6 柱の取付け

△注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-0411	
	LO5-6411	
使用ボルト数	16本	

①柱前左右・柱後を下枠の4隅の切欠きに差し込んでボルト止めします。
②中柱前・中柱後を工程③で固定した扉間柱取付金具の上からかぶせてボルト止めします。1 2

ワンポイント
柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。

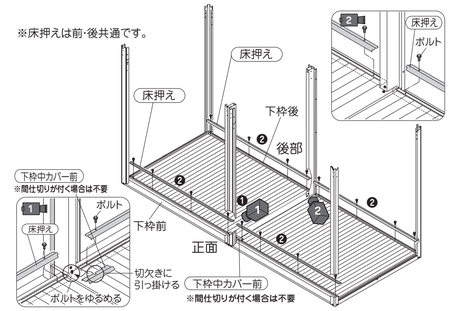
7 下枠中カバー前・床押えの取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-6132	
	LO5-0254	
使用ボルト数	16本	

注意 オプションの間仕切りを取付ける場合は、下枠中カバー前は取付けません。下記工程の1は不要です。

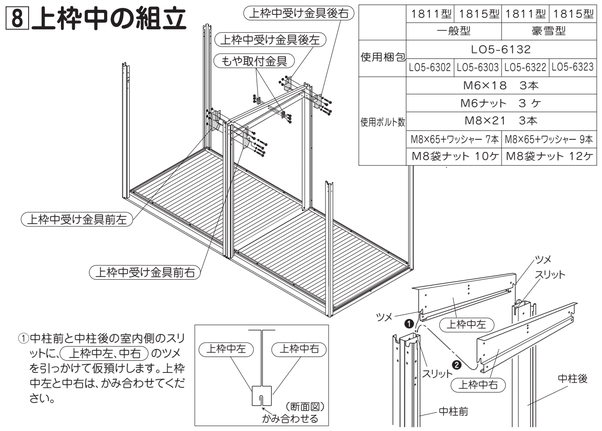
①下枠中と扉間柱取付金具を固定しているボルト(前側のみ)をゆるめ、下枠中カバー前の切欠き部分を引っかけて締め直します。1
②床押えを下枠前・後にボルト止めします。2

※床押えは前・後共通です。



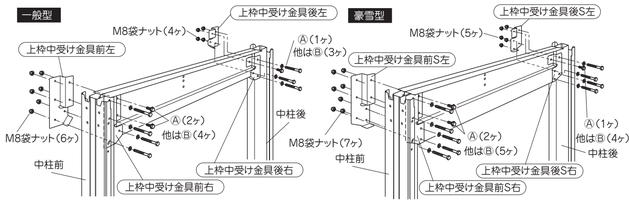
8 上枠中の組立

	1811型	1815型	1811型	1815型
	一般型		豪雪型	
使用梱包	LO5-6132			
使用ボルト数	LO5-6302	LO5-6303	LO5-6322	LO5-6323
	M6×18 3本			
	M6ナット 3ケ			
	M8×21 3本			
	M8×65+ワッシャー 7本		M8×65+ワッシャー 9本	
	M8袋ナット 10ケ		M8袋ナット 12ケ	

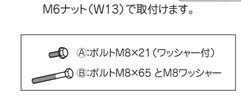


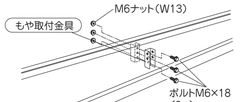
①中柱前と中柱後の室内側のスリットに、上枠中左、中右のツメを引っかけて仮預けします。上枠中左と中右は、かみ合わせてください。

②上枠中と中柱前を、上枠中受け金具前右(左)ではさんで、ボルト(M8×65)・M8袋ナット・M8ワッシャーで固定します。
上枠中と中柱後も同様に固定してください。※一般型と豪雪型とで金具形状およびボルト類使用数が異なります。



③上枠中の3つ孔に、両側から もや取付金具 をボルト(M6×18)とM6ナット(W13)で取付けます。





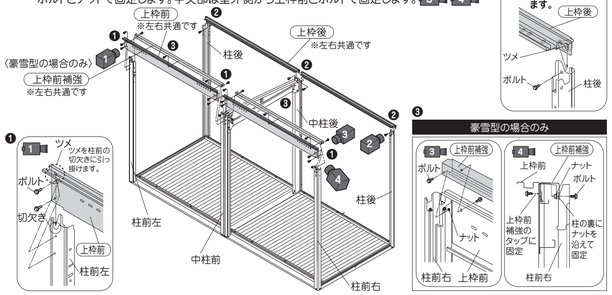
ワンポイント
上枠中左、中右のかみ合わせ及びもや取付金具の取付け作業を先に下で行ってからでも施工出来ます。

9 上枠前後の取付け

	1811型	1815型	1811型	1815型
	一般型		豪雪型	
使用梱包	LO5-0204		LO5-0224	
使用ボルト数	12本		22本+M6ナット4ケ	

注意 一般地型の場合は、上枠前補強は取付けません。下記工程の3は不要です。この工程で付け忘れると大がかりな解体が必要です。

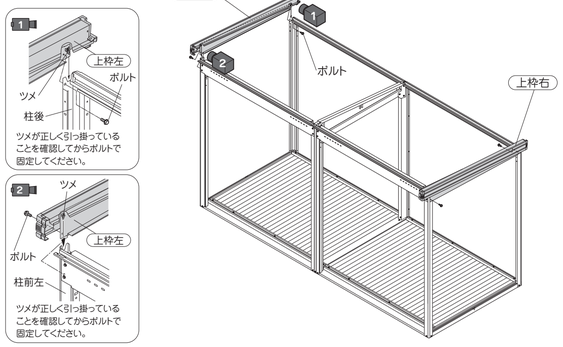
①上枠前のツメを柱前左右、中柱前の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。1
②上枠後のツメを柱後、中柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。2
③豪雪型の場合のみ、上枠前補強を室内側から柱前左右、中柱前に載せ、両端部をボルトとナットで固定します。中央部は室外側から上枠前とボルトで固定します。3 4



10 上枠左右の取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LM5-0302	LM5-0303
使用ボルト数	4本	

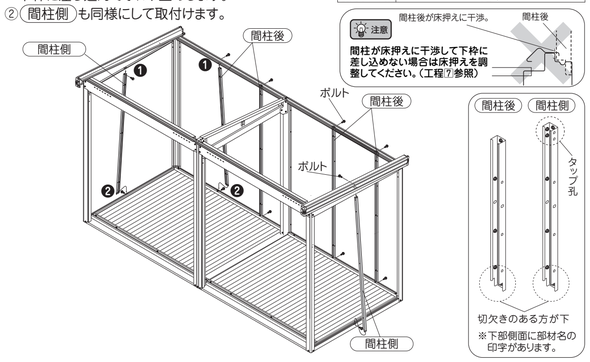
①上枠左・上枠右を柱に取付けます。1 2



11 間柱側・後の取付け

	1811型		1815型	
使用梱包	一般型	豪雪型	一般型	豪雪型
	LO5-1467	LO5-1487	LO5-1468	LO5-1488
	LO5-6411			
使用ボルト数	12本			

①間柱後の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
②間柱側も同様にして取付けます。



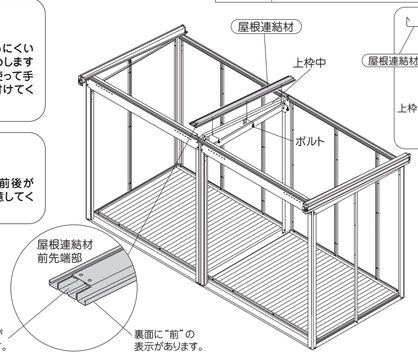
12 屋根連結材の取付け

	1811型	1815型	1811型	1815型
	一般型		豪雪型	
使用梱包	LO5-6302	LO5-6303	LO5-6322	LO5-6323
使用ボルト数	3本			

①屋根連結材を上枠中に取付けます。

注意
電動工具が使いにくい場所をボルト止めしますのでスパナ等を使って手でボルトを締め付けてください。

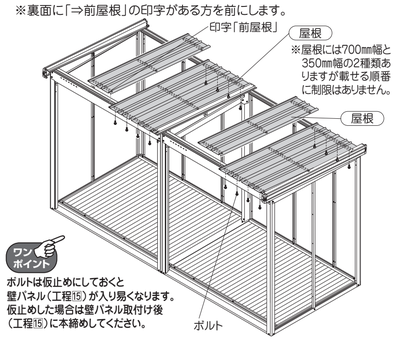
注意
屋根連結材には前後がありますので注意してください。



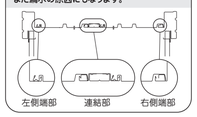
13 屋根の取付け

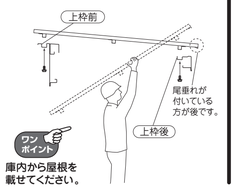
	1811型	1815型
使用梱包	LM5-0912	LM5-0923
使用ボルト数	40本	

①屋根を連結部の右側、左側それぞれ右端から順番に載せて上枠前、上枠後にボルト止めします。
※裏面に「⇒前屋根」の印字がある方を前にします。



⚠注意
屋根は正しく重ねてください。正しく重ねないとボルトの固定孔が合わなくなります。また漏水の原因にもなります。



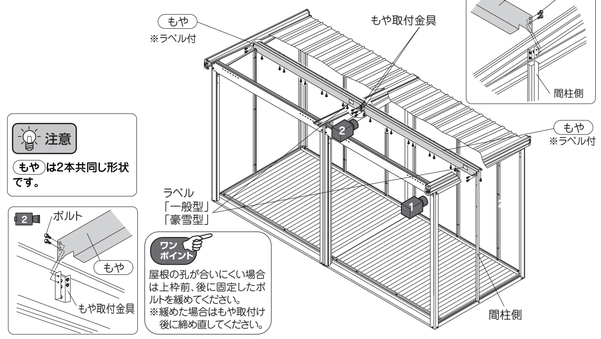


14 もやの取付け

		1811型	1815型
使用梱包	一般型	LM5-0521	
	豪雪型	LO5-3521	
使用ボルト数	28本		

①もやを正面から間柱側に載せてボルト止めします。1 2
②もやと屋根をボルト止めします。

注意
もやは2本共同じ形状です。



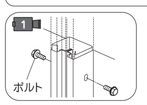
15 壁パネルの取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LM5-1011	LM5-1011
	LM5-1014	LM5-1013
	LM5-1031	LM5-1031
	LM5-1032	–
使用ボルト数	54本	

①室内から壁パネルをはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
②柱・間柱にボルト止めします。1
※柱前左右とはボルト止めしません(工程22で固定します)。

注意
ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

ワンポイント
ボルト固定乳が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを緩めると合わせやすくなります。
※緩めた場合は壁パネル取付け後に締め直してください。

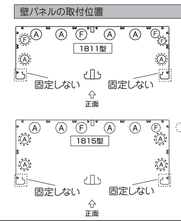


注意
壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣同士の棚受け取付けの角乳が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

壁パネルの種類

※壁パネルに上下の区別はありません。
※間仕切り部には高さの低いパネルを使用します。

壁パネルの取付位置



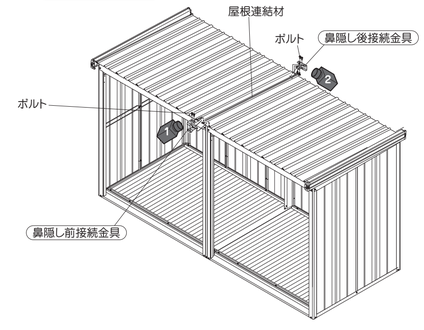
○部分のパネルが入りにくい場合は、パネルの上部をもやの切欠き部に逃げて下を先にはめ込んでください。

16 鼻隠し接続金具の取付け

注意 トイ(オプション)を取り付ける場合は「オプショントイセット」の組立説明書を先にお読みください。

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-6132	
使用ボルト数	6本	

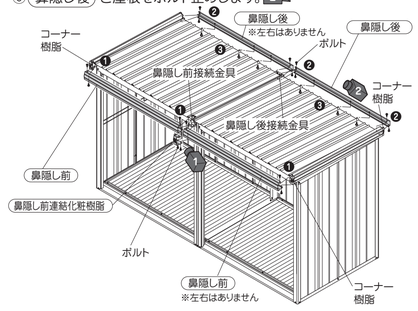
①鼻隠し前接続金具を屋根連結材の前端部と上枠前にボルト止めします。上枠前のボルトは一旦ゆるめて鼻隠し前接続金具の下部切欠きをひっかけてボルトを締め直します。1
②鼻隠し後接続金具を屋根連結材の後端部にボルト止めします。2

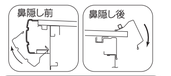


17 鼻隠しの取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-6132	
	LM5-1104	
使用ボルト数	22本	

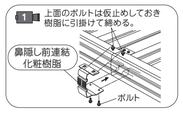
①鼻隠し前をコーナー樹脂、鼻隠し前接続金具にかぶせるように取付け、ボルト止めします。
連結部分は鼻隠し前連結化粧樹脂を上からかぶせてボルト止めします。1
②鼻隠し後をコーナー樹脂、鼻隠し後接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。
③鼻隠し後と屋根をボルト止めします。2





2 鼻隠し後と屋根の固定

1 上面のボルトは仮止めしておき樹脂に引掛けて締める。

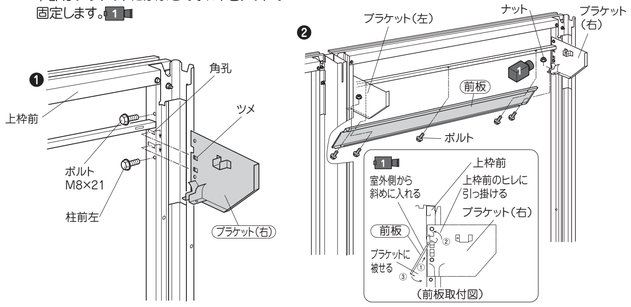


18 ブラケット・前板の取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-1731	
使用ボルト数	M8×21 8本	
	M6×15 10本	
	M6ナット 4ケ	

①ブラケット左右のツメを柱前左右、中柱前の角乳部に引っ掛けてボルト止めします。
②前板を下図のように室外側から斜めに入れ、上部は上枠前に引っ掛けてボルト止めします。下部はブラケットにかぶせてボルトとナットで固定します。1

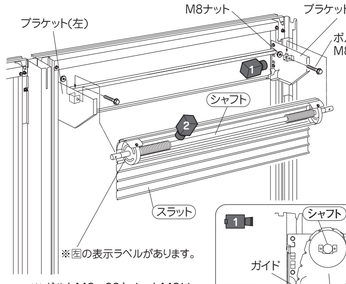
注意
シャッター部材の㊀・㊁の表示は室内から見た位置を示しています。



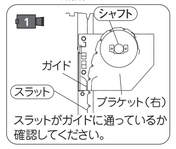
19 シャフトの取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-1731	
使用ボルト数	M8×60 4本	
	M8ナット 4ケ	

①室内側からシャフトを軸受に載せ、スラットをブラケットのガイドに通します。
(先にスラットをガイドに通してから軸受に載せても施工出来ます)

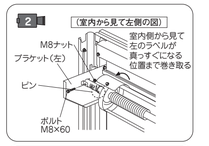


※ボルトM8×60とナットM8はブラケットの軸受に仮止めしてあります。

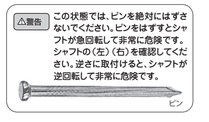


スラットがガイドに通っているか確認してください。

②シャフトの左側のラベル(左と表示)が室内側に真っ直ぐになる位置までスラットを巻き取り、巻き取った状態で軸にボルトM8×60を貫通させ、ナットM8で固定します。



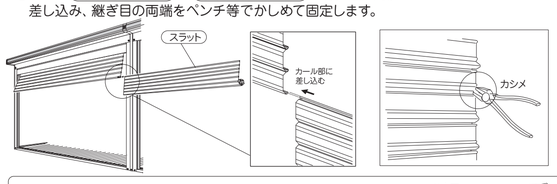
⚠警告 この状態では、ピンを絶対にはずさないでください。ピンをはずすとシャフトが急回転して非常に危険です。シャフトの(左)(右)を確認してください。逆さに取付けると、シャフトが逆回転して非常に危険です。



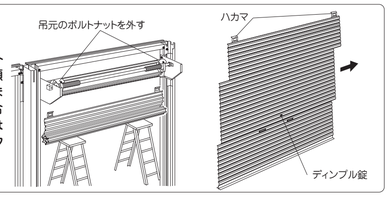
20 シャッタースラットの取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-1732	
使用ボルト数	0本	

①上から外錠付スラット→水切り付スラットの順に室外側から差し込み、継ぎ目の両端をペンチ等でかしめて固定します。

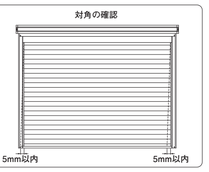


注意
スラットは、3分割されておりシャフトを取り付けた後、左(又は右)から順次差し込んで行くようになっています。差し込むスペースがない場合は、ハカマを取付けているボルトをはずし、スラットを一体にしてからシャフトに取付け直してください。



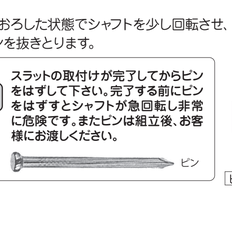
②スラットをおろし柱とゆがみがないか確認してください。

注意
柱の傾きが5mmを越えるとシャッターの開閉に、支障をきたす場合がありますのでサゲフリ等で寸法の確認を必ず行ってください。尚、レール間ピッチも上下とも5mm以内で施工してください。
柱が広すぎると鍵がかからなくなるだけでなく、強風時にスラットがレールから抜ける場合があります。



③スラットをおろした状態でシャフトを少し回転させ、写真のピンを抜きとります。

⚠警告 スラットの取付けが完了してからピンをはずして下さい。完了する前にピンをはずすとシャフトが急回転し非常に危険です。またビンは組立後、お客様にお渡しください。

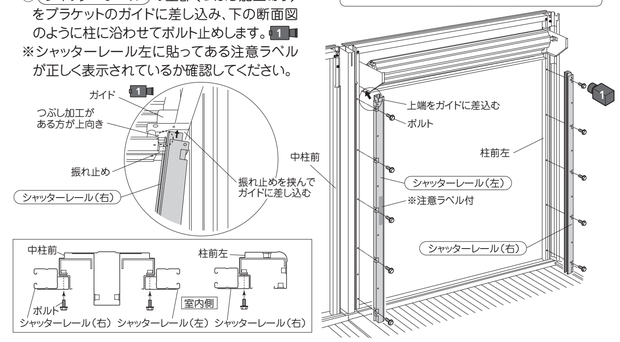


21 シャッターレールの取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-1731	
使用ボルト数	20本	

①スラットをブラケットのガイドに通しながら巻き上げます。
②シャッターレールの上部(つぶし加工あり)をブラケットのガイドに差し込み、下の断面図のように柱に沿わせてボルト止めします。1
※シャッターレール左に貼ってある注意ラベルが正しく表示されているか確認してください。

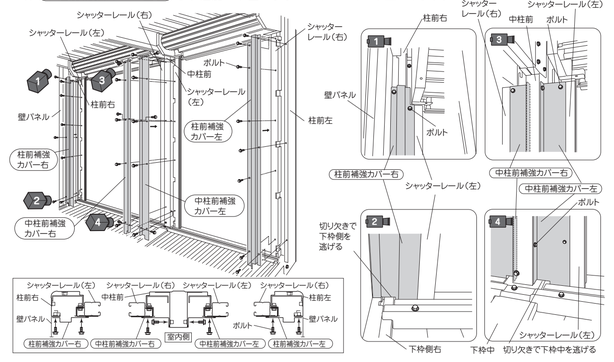
注意 シャッターレールには上下左右がありますので、間違えないようにしてください。



22 柱前補強カバーの取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-0411	
	LO5-6411	
使用ボルト数	32本	

①柱前補強カバー左右を柱前とシャッターレールに下図のようにかぶせてボルト止めします。
②中柱前補強カバー左右を中柱前に下図のようにかぶせてボルト止めします。

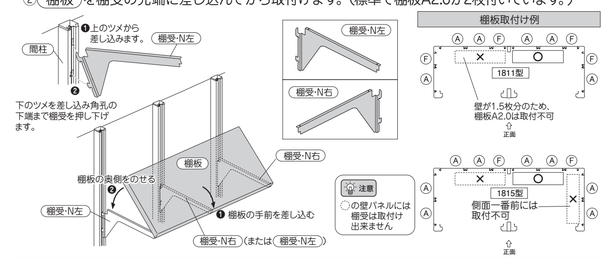


23 棚板の取付け

注意 棚板は制限重量を表示している面が正面に見えるように取付けてください。

	1811型	1815型
使用梱包	LM5-1903	
使用ボルト数	0本	

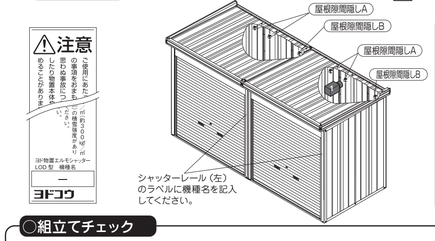
①棚受を図の様に壁パネルの角乳に差し込みます。
②棚板を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)



24 その他部品の取付け

	1811型	1815型
使用梱包	LO5-0132	
	LO5-6132	
使用ボルト数	0本	

①シャッターレール(左)の注意ラベルに゛機種名゛を記入します。
②屋根隙間隠しA
屋根隙間隠しB
を上枠後の屋根の重ね部に、
を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。1



○組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

	チェック欄
①シャッターがスムーズに開閉するかご確認ください。	
②鍵が正常に作動するかご確認ください。	
③棚板の配置確認をしてください。	
④機種名が記入されたか確認してください。(シャッターレール裏面の注意・警告ラベル)	
⑤ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。	
⑥施工業者の方は、シャッターピンと取扱説明書と保証書をお客さまにお渡ししたか確認してください。	

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ シャッターピン、取扱説明書、保証書は大切に保管してください。
施工業者の方へ 上記と併せて、本書も必ずお客様にお渡しください。

(LOD(U)-1811HF・1815HF)
ヨドコウ
LOD-1811_HF_NR_KS_2025A